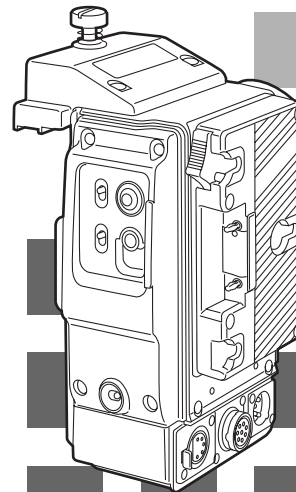


Panasonic

カメラアダプター 取扱説明書

品番 **AJ-HCA270**



保証書別添付

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0A42-2

このたびはカメラアダプター AJ-HCA270（以下、本機）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

本機は、DVCPRO HD カメラレコーダ AJ-HDC27F に装着し、カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 との間を 26 pin マルチケーブルと BNC（5CFB）ケーブルを用いて接続し、システムカメラとしての運用を可能とします。カメラレコーダへの電源供給、コントロール、リターン信号入力等は 26 pin マルチケーブルによるアナログ伝送を用い、カメラレコーダ出力の映像、音声信号は BNC ケーブルによる HD-SDI 伝送を用いる事により、カメラレコーダで撮影している映像を高画質のまま伝送することができます。

これにより AJ-HDC27F カメラレコーダの運用形態の幅を広げる事ができます。

< ノート >

- AJ-HDC27F と接続する前に、AJ-HDC27F の上部に記載されたシリアルナンバーを確認してください。ナンバーの上 5 桁が A2THA ~ K2THA の範囲にある場合は AJ-HDC27F のバージョンアップが必要となります。バージョンアップについてはサービスセンターまたは販売店にご相談ください。
- 本機の電源切り換えスイッチ（CCWS EXT）を切り換える場合は、必ずカメラレコーダーの電源スイッチを OFF にして下さい。
- 本機の電源切り換えスイッチを CCWS 側でご使用になる場合は、必ずカメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 のパワースwitchを ON にしてから、カメラレコーダの電源スイッチを ON にして下さい。
- 本機はカメラレコーダの電源を OFF した場合でも、インカム回路が動作しております。バッテリーでご使用中に完全に電源を OFF にしたい場合は、本機電源切り換えスイッチを CCWS 側に設定しておいて下さい。
ただし、この場合カメラレコーダの LCD 表示及び TC の設定も OFF となります。なお、本機の電源を完全に OFF にする場合は、必ずカメラコントロールワークステーションの電源を OFF にして下さい。
- インカムマイクは、出荷時にカーボンマイクに設定されております。ダイナミックマイクへの切り換えは、本機内部スイッチで切り換える必要がありますので、システムを組む際に販売店にお問い合わせください。

目 次

特 徴	2
安全上のご注意	3
取り付け	6
各部の名称と機能	7
リアパネル部	7
右側	7
左側	8
電源の供給	9
コネクタの信号内容	13
内部スイッチ	14
定 格	15

特 徴

本機は以下のような特徴があります。

- DVCPROHD カメラレコーダ AJ-HDC27F とカメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 との組み合わせでシステムカメラとしての運用を可能にします。
- 当社指定の推奨 26 pin マルチケーブルと BNC（5CFB）ケーブルを用いて最大延長 100 m の伝送が可能です。^{*1}
- ワンタッチで簡単に AJ-HDC27F へ着脱できます。
- カメラコントロールワークステーション・AJ-HBS270 からの 26 pin 伝送電源、外部 DC 電源、バッテリーから電源選択が可能です。
- バッテリーによる DC オペレーションにより、カメラレコーダに本機装着状態で通常カメラレコーダ運用が可能です。
- AUDIO 2CH 出力用端子（8 pin コネクタ）を装備、同梱の AUDIO ケーブル（VEC0985G）を用いてカメラコントロールワークステーション・AJ-HBS270 からの AUDIO 2CH 信号をカメラレコーダで記録できます。

^{* 1} 電力供給に制限がありますので、システムを組む場合は販売店にお問い合わせください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

水場で使用しない!!



火災や感電の原因になります。

水場
使用禁止

本機を改造しない!!



火災や感電の原因になります。

分解禁止

不安定な場所に置かない!!



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

禁止

機器が濡れたり、水が入らないようにする!



火災や感電の原因になります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

表示された電源電圧以外は使用しない!



火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードや接続コードに重いものを載せない!














本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

<p>指定のカバー以外は外さない!</p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 	<p>電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する!</p>  <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する!</p>  <p>本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>
<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p>  <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p>  <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない!</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない!</p>  <p>傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!</p>  <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!</p>  <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 	
<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!</p>  <p>火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>乾電池やバッテリーは、極性（+，-）を正しくつなぐ!</p>  <p>破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染原因になります。</p>	<p>乾電池やバッテリーを分解・加熱しない!</p> <p>火中・水中に投げ入れない!</p>  <p>ショートや破裂、液漏れにより、けがや火傷をする原因になります。</p> <p>禁止</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	<p>本機の上に重い物を置かない!</p> <p> バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる!</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>禁 止</p>
<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	<p>長時間使用しないときは、バッテリーを外す!</p> <p> 火災の原因になる恐れがあります。</p>	<p>ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない!</p> <p> 感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>
<p>専用の AC アダプター以外は使用しない!</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	<p>不安定な場所で、三脚を使わない!</p> <p> 倒れると、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	<p>指定外の乾電池やバッテリーは、使用しない!</p> <p> 破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>
<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>	<p>バッテリー（パック）を充電しているときは、周囲に燃えやすいものを置かない!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	<p>プラグやコネクタを抜くときは、コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p> <p>●必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
<p>本機に乗らない!</p> <p> 倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する!</p> <p> けがや事故につながる恐れがあります。</p>	<p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁 止</p> <p>●風通しの悪い所に押し込まないでください。</p> <p>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を!



本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。

お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!



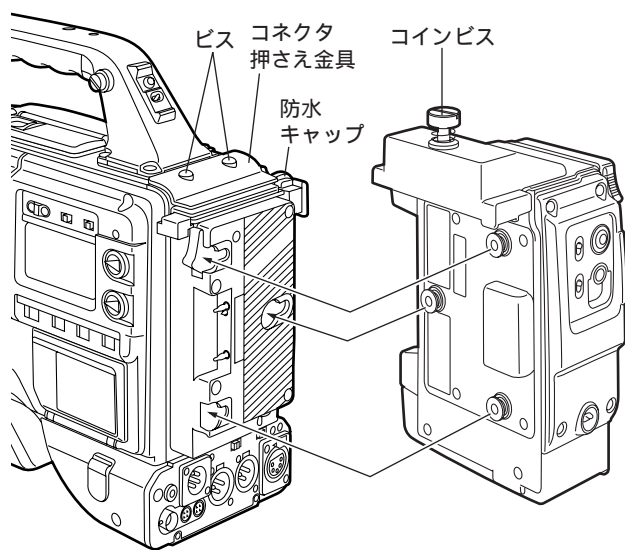
火災や感電の原因になる恐れがあります。

取り付け

本機のカメラレコーダへの取り付けは、下記のように行ってください。

< ノート >

カメラレコーダのバージョンによっては、バージョンアップを必要とする場合がありますので、販売店にご相談ください。

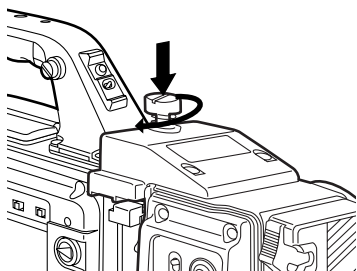


1. 本機のコネクタを接続するコインビスのネジ部が外れている（ビスが完全に上がりきっている）事を確認してください。
ネジ部を閉めた状態で取り付けを実施すると、コネクタを破損することがあります。
2. カメラレコーダ後部のビスを2本外し、スペーサ上部のコネクタ押さえ金具を取り外します。金具を外した後、ビス2本は元の位置に取り付けておいてください。

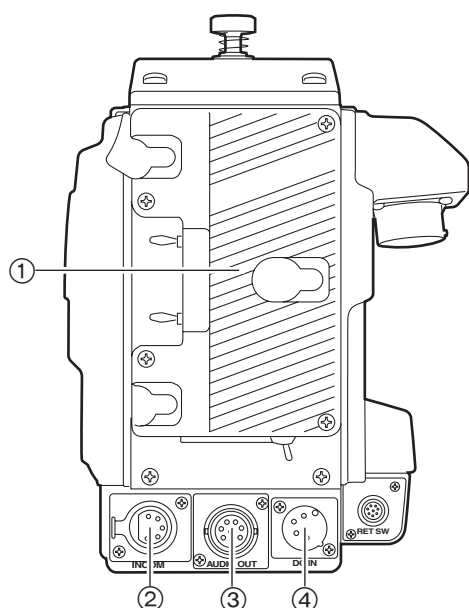
< ノート >

コネクタ押さえ金具は、本機をカメラレコーダから外して使用する場合、防水キャップを押さえるために必要ですので、大切に保管して下さい。

3. スペーサ上部の防水キャップを外し、左図のように、スペーサーと本機の案内部を合わせ、矢印の方向へ本機をカチッと音がするまで押します。
4. コインビスを押し下げながら確実に締めて下さい。



リアパネル部



① バッテリーマウント

アントンパワー製のバッテリーパックを取り付けます。

バッテリーケース AU-M402H を取り付けることで、Panasonic バッテリー AU-BP402 をご使用になれます。

付属のバッテリー取り付け端子とクッションを取り付け、ソニー製各種バッテリーホルダーを取り付けることでソニー製 NP-1、BP-90、BP-L60/L90 をご使用になれます。（「電源の供給」を参照して下さい）

② インカムコネクタ

カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 を通じてインカムシステムと相互送話するときを使用します。

③ AUDIO OUT コネクタ

カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 の AUDIO 2CH 入力をカメラレコーダーへ入力するためのコネクタです。同梱の AUDIO ケーブル (VEC0985G) を用いてカメラレコーダーの AUDIO IN CH1/CH2 入力と接続します。

< ノート >

カメラ本体の AUDIO IN SW は必ず LINE 側に設定してご使用下さい。

MIC/+48V 側でのご使用についてはシステム上の性能を満足することができません。

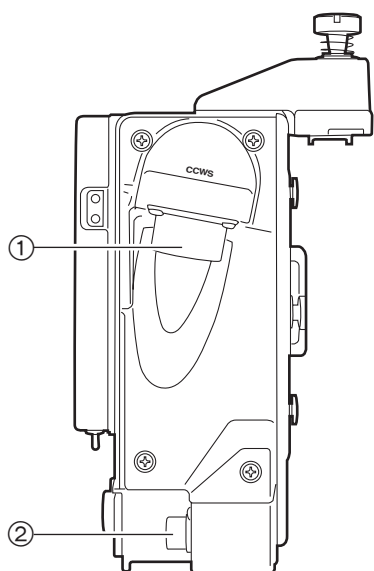
④ DC IN (外部電源入力) 端子

本機を外部電源で動作させるとき、AC アダプタ AJ-B75 (別売品) を接続します。

外部バッテリーを使用するときは外部バッテリーを接続します。

接続されると自動的に外部電源に切り替わります。

右側



① CCWS 端子

26 pin ケーブルを接続し、カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 との間で通信、伝送を行うための端子です。

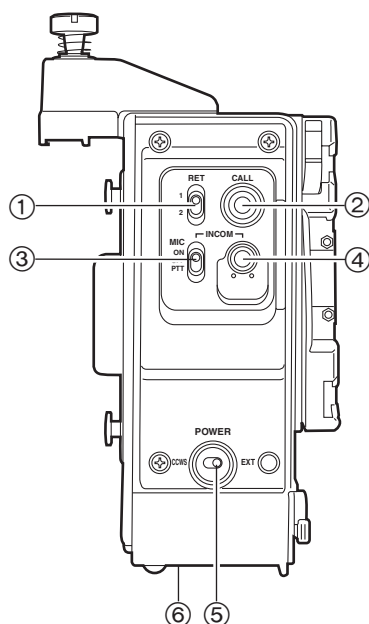
② リターンスイッチ端子

RET SW BOX を接続するための端子です。

機能として、RET1、RET2 の選択を行うことができます。

各部の名称と機能

左側



- ① リターン信号切り換えスイッチ
カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 入力のリターン信号の選択スイッチです。
1 : RET1 入力を選択します。
2 : RET2 入力を選択します。

< ノート >

リターンスイッチ端子に RET SW BOX が接続されている場合は、このスイッチの動作は無効になります。

- ② コールボタン
本機からカメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 側を呼ぶためのボタンです。
CALL ボタンを押すと、AJ-HBS270 の CALL ランプが点灯します。

- ③ マイクインカムスイッチ
インカム回線の送話を ON/OFF/PTT から選択するスイッチです。
(PTT : 押している間は送話可)

- ④ インカムレベルボリューム
インカム受話 (受信) レベルを調整します。

< ノート >

カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 からのインカム信号には PGM が MIX されています。AJ-HBS270 で PGM ON/OFF の設定ができます。

- ⑤ 電源切り換えスイッチ
電源を選択し切り換えるスイッチです。
CCWS : 26 pin ケーブルから供給される (カメラコントロールワークステーションから伝送される) 電源を選択します。
EXT : 外部 DC 電源/BATT を選択します。
なお、DC IN 端子にコネクタが接続されていると、自動的に DC IN 電源を選択します。

< ノート >

AJ-HDC27F でアンダーカット状態になった場合、本機への電源供給を一度全て OFF する必要があります。AJ-HDC27F の POWER を OFF、本機の電源切り換えスイッチを「EXT」に設定し、バッテリー、外部 DC 電源を外してください。

- ⑥ BREAKER (ブレーカー) ボタン
機器を保護するため、内部に過大電流が流れるとブレーカーが作動し、電源が自動的に切れます。内部の点検・調整をした後、このボタンを押し込んで下さい。異常がなければ再び電源が入ります。

電源の供給

本機とカメラレコーダを接続した状態で使用できる電源は電源切り換えスイッチで変更可能です。

- 電源切り換えスイッチを CCWS 側に設定時
カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270 からの 26 pin ケーブルによる供給電源が使用できます。
ただし、AJ-HBS270 を AC 電源でご使用になる場合に限りです。
- 電源切り換えスイッチを EXT 側に設定時
バッテリーパックまたは外部 DC 電源が使用できます。

バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは以下の 3 種類のバッテリーが使用できます。

- パナソニック製
- アントンパワー製
- ソニー製

バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電して下さい。

(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読み下さい)

< ノート >

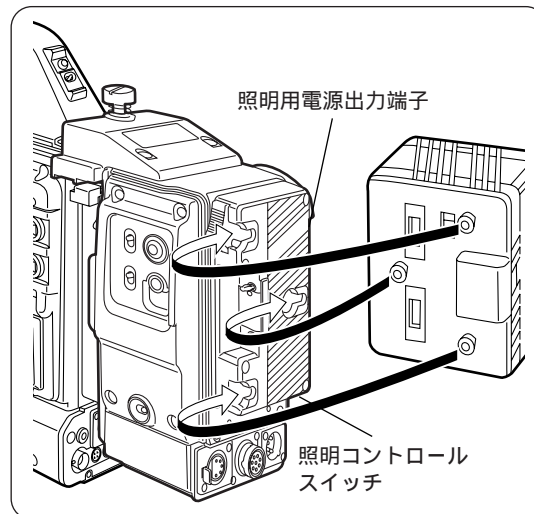
- 他のバッテリーについても、カメラレコーダ側の設定メニューを変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はできません。
- カメラレコーダのバッテリー表示は以下のようになります。

電源切り換えスイッチ	入力端子	カメラレコーダ本体 バッテリー残量表示
CCWS	26 pin	カメラレコーダの電源に外部 DC を使用した場合と同じになります。
EXT	DC IN	カメラレコーダの電源に外部 DC を使用した場合と同じになります。
	アントンプレート	カメラレコーダの電源にバッテリーを使用した場合と同じになります。

設定はカメラレコーダ BATTERY/TAPE MENU に従います。

アントンパワー製バッテリーパックの使用

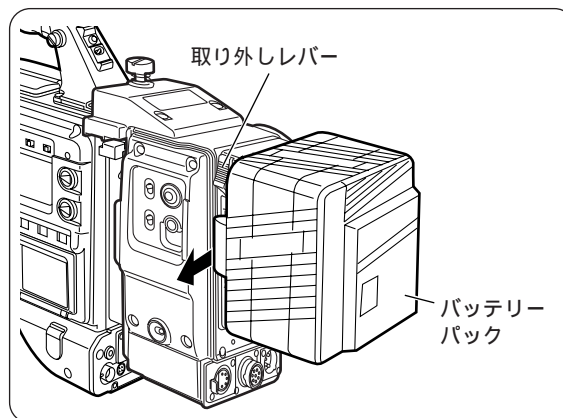
- 1 バッテリーパックを取り付けます。
矢印の方向に差し込んでからスライドさせて下さい。



< ノート >

本機とカメラレコーダを接続してご使用になる場合、アントンプレート装備の照明用電源出力端子はカメラレコーダ後部のスペーサー側は使用せず、本機の照明用電源出力端子をご使用下さい。

- 2 バッテリーを取り外すときは、バッテリーマウントの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせて下さい。



< ノート >

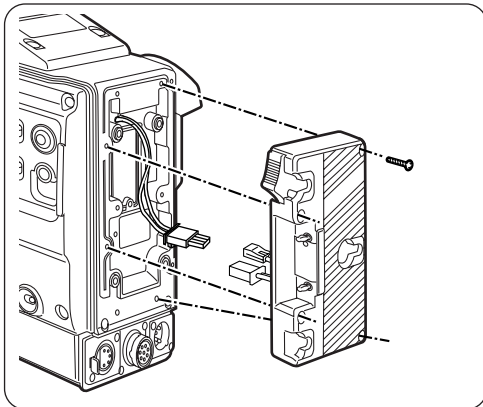
インテリジェントバッテリーシステム/ウルトラライトシステムに対応していません。

ビューファインダー内のバッテリー残量は、常時電圧表示になります。

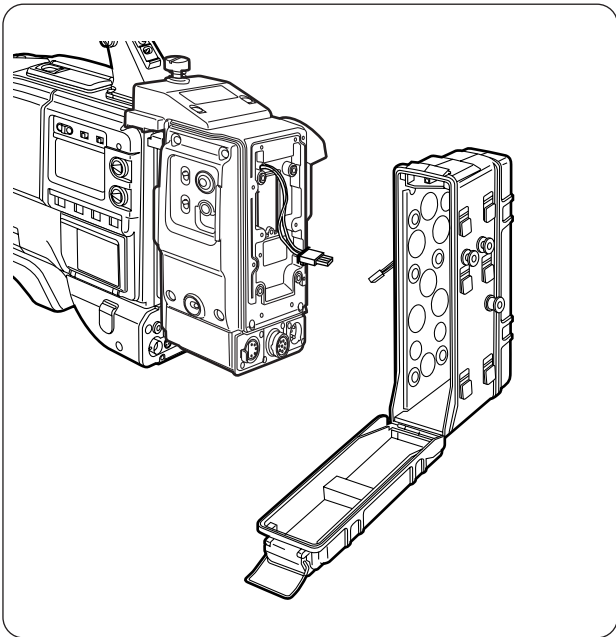
電源の供給

パナソニック製バッテリーパック AU-BP402 の場合

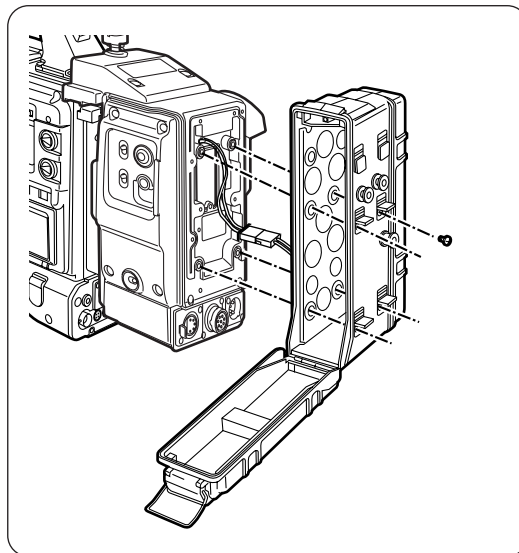
1 バッテリーマウントを取り外します。



2 本機のコネクタとバッテリーケース AU-M402H のコネクタを接続します。



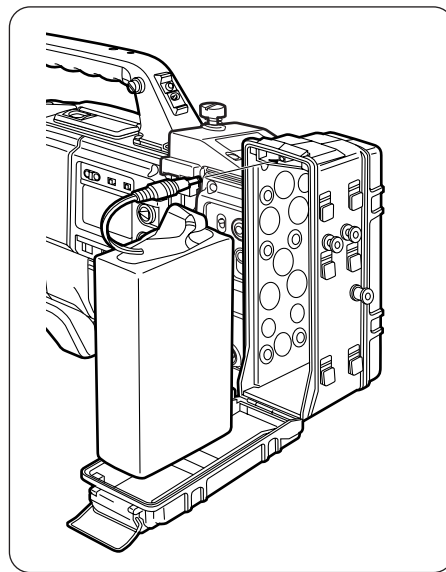
3 バッテリーケース AU-M402H を取り付けます。バッテリーケースのフタを開け、ゴムキャップ上に持ち上げるとネジ穴が見えます。ドライバーでネジを締めて、ケースを本機に取り付けてください。ネジは最後まで正確に締めてください。



< ノート >

- ゴムキャップは強く引っ張らないでください。
- バッテリーケースを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

4 バッテリーパックのプラグとケース内の端子を接続し、バッテリーパックを入れます。



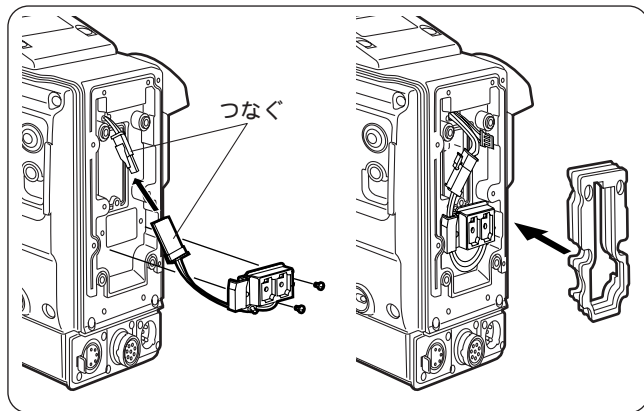
< ノート >

プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

ソニー製バッテリーパック NP-1 の場合

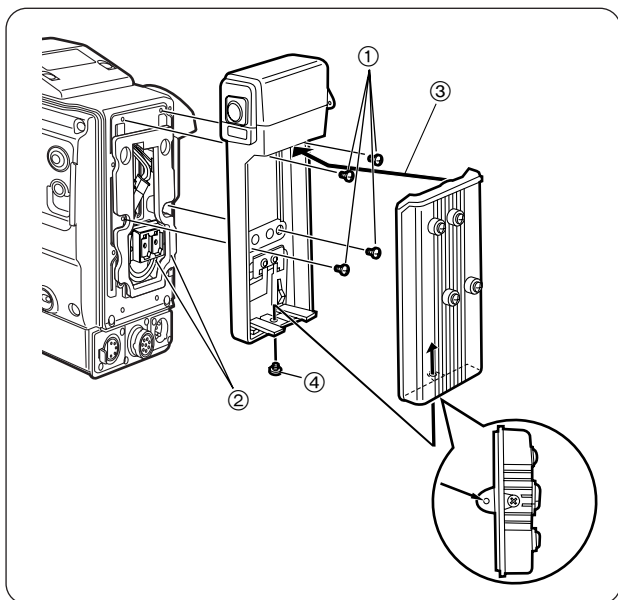
1 バッテリーマウントを取り外します。10 ページを参照して下さい。

2 付属のバッテリー取り付け端子とクッションを取り付けます。



3 SONY バッテリーホルダーを取り付けます。
図のように、フタを外したバッテリーケース、取り外したフタの順に取り付けます。

- ① 取り付け用ネジを締めます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ 取り外したフタの上部を矢印の方向に差し込みます。
- ④ フタの下部（金属部分）の穴とケース下部の穴を合わせて、バッテリー取り付け端子に、バッテリーホルダーのネジで取り付けます。



< ノート >

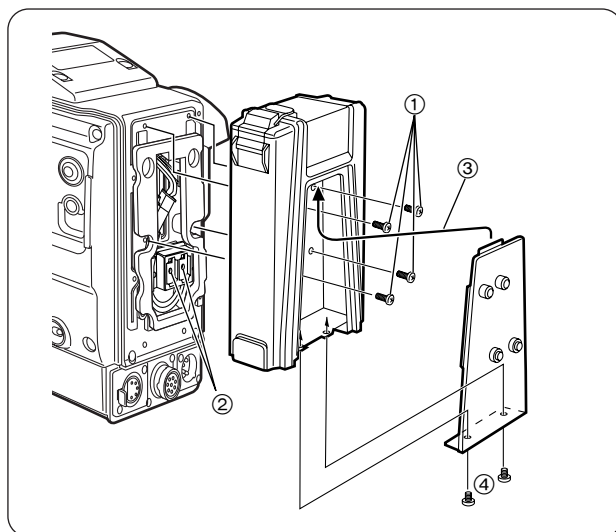
バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

ソニー製バッテリーパック BP-90 の場合

1 付属のバッテリー取り付け端子を取り付けます。

2 BP-90 用のバッテリーケースを取り付けます。

- ① 取り付け用ネジを締めます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ 取り外したフタの上部を矢印の方向に差し込みます。
- ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。



< ノート >

バッテリーケースを取り付けるときは、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けて下さい。

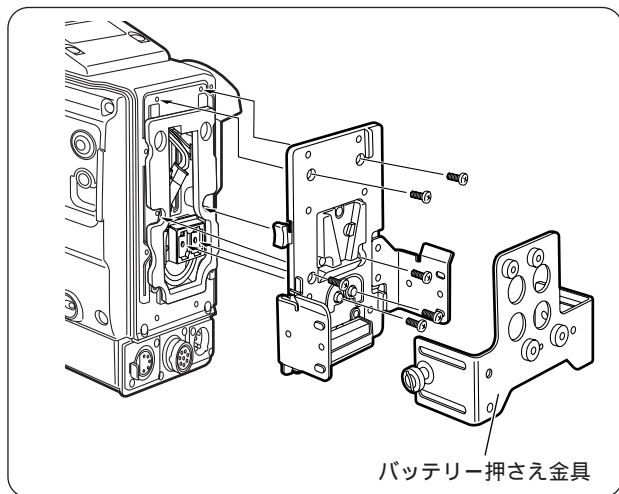
電源の供給

ソニー製リチウムイオンバッテリー BP-L60/L90 の使用

1 付属のバッテリー取り付け端子とクッションを取り付けます。(前ページ参照)

2 リチウムイオン用のバッテリーホルダーを取り付けます。

- ① 図のようにバッテリー押さえ金具を外し、取り付け用ネジでホルダーを取り付けます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ バッテリー押さえ金具を取り付けます。



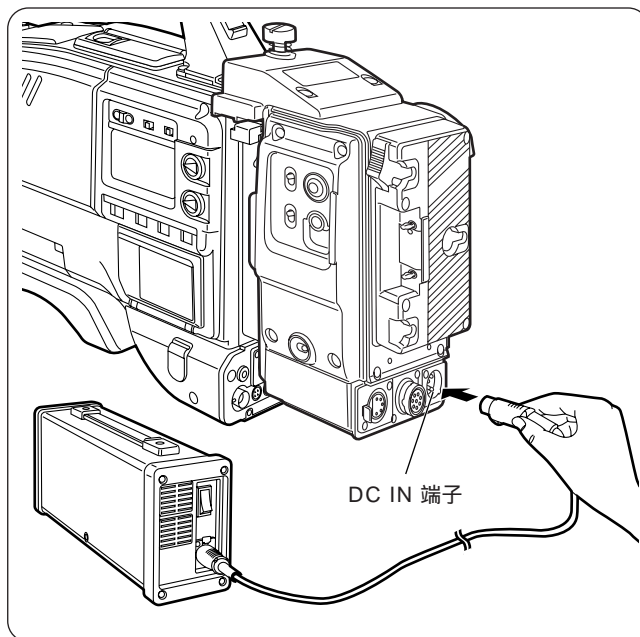
< ノート >

- プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。
- バッテリーケース/ホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

AC 電源の使用

AC アダプタ AJ-B75 を使用した場合

1 本機の DC IN 端子と AC アダプタ AJ-B75 の DC OUT 端子を接続します。



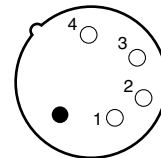
2 AC アダプタの電源を「ON」にします。

3 カメラレコーダの POWER スイッチを「ON」にします。

< ノート >

- AC アダプタ AJ-B75 (DC 12 V、8.5 A) 以外の外部電源を使用するときは、EXT DC IN 端子のピン信号を確認してください。
 - バッテリーパックと AC アダプタの両方接続した場合は、AC アダプタの電源が優先されます。
 - AC アダプタを使用するときは、必ず AC アダプタの電源を「ON」にした後、本機の POWER スイッチを「ON」にしてください。
- 逆の操作を行った場合、AC アダプタの出力電圧がゆっくり立ち上がるために、本機が誤動作することがあります。

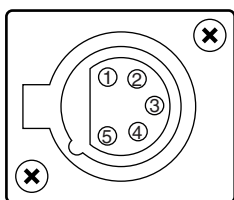
ピン番号	信号
1	GND
2、3	
4	+12 V



コネクタの信号内容

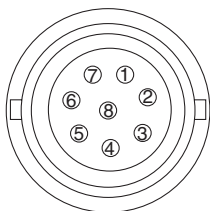
INCOM	
1	GND
2	INCOM TALK (H)
3	GND
4	INCOM RECEIVE (H)
5	

松下品番 K1AB105H0015
メーカー品番 HA316PRA-5S
(ヒロセ電機)



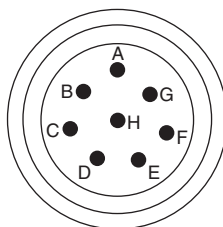
AUDIO OUT	
1	AUDIO OUT CH1 (C)
2	AUDIO OUT CH1 (H)
3	AUDIO OUT CH1 (G)
4	AUDIO OUT CH2 (G)
5	AUDIO OUT CH2 (H)
6	AUDIO OUT CH1 (C)
7	
8	

松下品番 K1AB108J0003
メーカー品番 RM15QRD-8S
(ヒロセ電機)



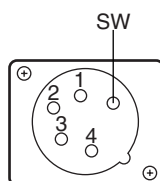
RET SW	
A	GND
B	RET1
C	RET2
D	RET SW SEL
E	
F	
G	
H	

松下品番 K1AB108J0008
メーカー品番 PR07-R8F
(多治見)



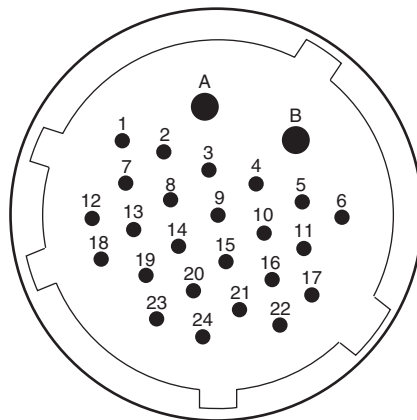
DC IN	
1	GND
2	
3	
4	+ 12V

松下品番 K1AA104H0024
メーカー品番 HA16RX-4P (SW1)
(ヒロセ電機)



CCWS	
A	HEAD POWER(+)
B	HEAD POWER(-)
1	GENLOCK
2	GENLOCK GND
3	Y GND
4	Y
5	TC OUT
6	TC OUT GND
7	TC IN
8	TC IN GND
9	AUDIO IN CH1(H)
10	AUDIO IN CH1(C)
11	AUDIO IN GND
12	POWER SENSE(+)
13	POWER SENSE(-)
14	INCOM
15	AUDIO IN CH2(H)
16	AUDIO IN CH2(C)
17	REMOTE
18	RET VIDEO
19	RET VIDEO GND
20	RET SW
21	TX COMMAND(X)
22	TX COMMAND(Y)
23	RX COMMAND(X)
24	RX COMMAND(Y)

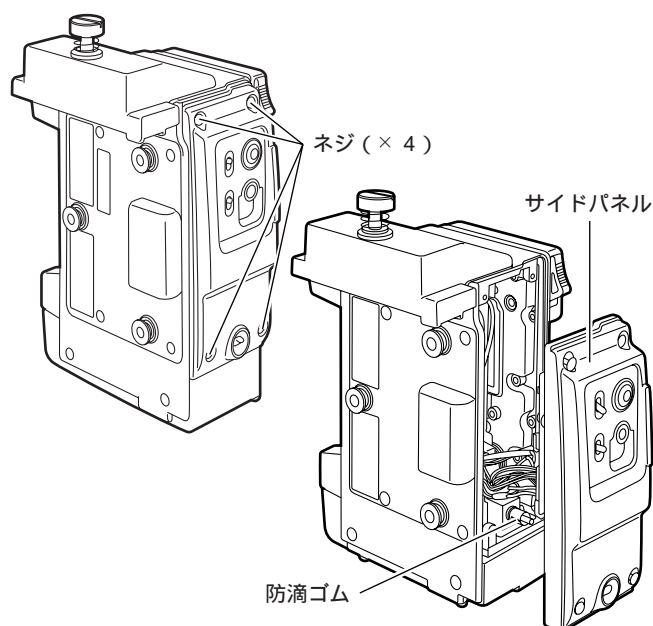
松下品番 K1AA126H0002
メーカー品番 SRCB02A21-26P
(日本航空電子)



内部スイッチ

インカムマイクをカーボンマイクにするかダイナミックマイクにするかの選択スイッチです。
出荷時はカーボンマイクに設定されています。

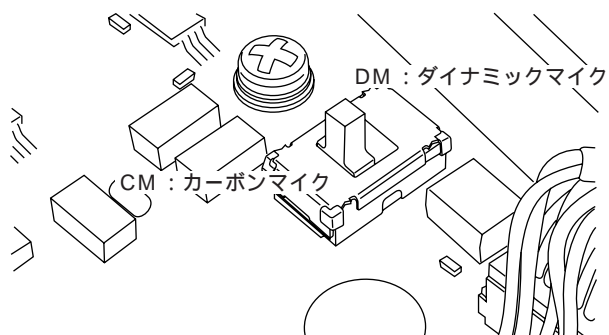
内部スイッチの切り換えについては、サイドパネルの取り外し・取り付けに十分な注意が必要です。必ず販売店、またはサービスステーションまでお問い合わせ下さい。



1 左図を参照してネジを4本外し、サイドパネルを外します。

< ノート >


- このとき、ネジはサイドパネルから外れません。
- サイドパネルは、防滴ゴムが外れないよう慎重に外して下さい。
- パネルは本体とコードでつながっていますので、強く引っ張らないで下さい。



2 サイドパネル内側にある基板のスイッチを切り換えます。

定 格

入力電圧：19.5 V DC (AJ-HBS270 より供給)	
EXT DC IN/BATT	DC12 V (DC11.0 V ~ 17.0 V)
入力電流：CCWS INPUT	2.71 A
EXT INPUT	3.8 A
(カメラ/AJ-HDC27F、EVF/AJ-HVF27 含む)	

 は安全項目です。

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) :	150 × 204 × 111 (mm)
重量 :	1.1 kg
動作周囲温度 :	0 ~ 40
動作周囲湿度 :	10 % ~ 85 %
保存温度 :	- 20 ~ +60

伝送部 : 26 pin ケーブルアナログ伝送 (本機 ↔ カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270)

伝送距離 : 最小距離 : 30 m/最大距離 : 100 m
(当社指定の推奨 26pin ケーブル使用時)

インターカム (本機 ↔ CCWS : カメラコントロールワークステーション AJ-HBS270)

マイク切り換え :	ダイナミックマイク・カーボンマイク切り換え可
入出力レベル :	RTS : 1 V _{P-P} (200 Ω)
方式 :	RTS
回線 :	CCWS 本機 1 回線 (ENG、PGM MIX) 本機 CCWS 1 回線 (ENG)
SN 比 :	50 dB 以上 (CCWS 本機)(本機 CCWS)
歪率 :	1.0 % 以下
周波数特性 :	100 Hz ~ 10 KHz (± 3 dB)(本機 CCWS) 500 Hz ~ 10 KHz (± 3 dB)(CCWS 本機)
ダイナミックレンジ :	10 dB 以上 (歪率 1 %時)

音声系

AUDIO 出力 :	CCWS 入力、スルー
入力コネクタ :	インターカムコネクタ : XLR 5 ピン 外部 DC 電源入力コネクタ : XLR 4 ピン RET SW 接続コネクタ : 8 ピン CCWS 接続コネクタ : 26 ピン
出力コネクタ :	AUDIO 出力コネクタ : 8 ピン

同梱品

AUDIO ケーブル	1 本
Sony 社対応バッテリー端子	1 個
上記端子用ネジ (黒)	2 本
クッション	1 個
バッテリーケース用ネジ	4 本

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161